

バイオマス取組事例概要

(農村振興局長賞)

北海道

- ・ 応募主体 三井観光開発株式会社 札幌グランドホテル
- ・ 都道府県・市町村 北海道札幌市
- ・ 取組分野 BDF等燃料、堆肥化

取組概要

廃食用油の燃料化・生ごみの資源化。

札幌グランドホテルはゴミの減量化を重要課題とし、廃食用油、生ゴミの資源化等に取り組んできた。

ホテルで発生する廃食用油(20,756L/年)は、「食用廃油混焼装置」(自社開発)でA重油と混合し、全量をボイラーの燃料と混焼して利用している。

また、食品残渣(210t/年)の97%(204t/年)は乾燥処理(36t/年)を行い、その後、専門業者によって堆肥化及び肥・飼料化され、契約農家にて使用されている。この堆肥・肥料で栽培された無農薬及び減農薬栽培の農産物の一部(米等)はホテルの食材として利用している。

廃食油混燃装置の概略図

◎札幌グランドホテルの食用廃油混焼装置の概略図

